

事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年 4月 1日

事業所名 クルーキッズ鹿沼2nd

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・窮屈にならないような配置を心がけている。	・今後も継続していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・急な休みに対応出来るよう、非常勤職員の配置を連携している。	・今後も継続していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			・事業所内の導線を確保し窮屈にならないように配慮している。	・建物の構造上、若干急な階段への対処を検討する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・利用状況を共有し、支援の方向性を確認している。	・今後も継続していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者からの要望等を、把握し職員間で共有している。	・今後も継続していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・ホームページ上にて公開している。	・今後も継続していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・現段階での実施予定はない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		・更新研修等に参加している。	・新規の研修の機会を確保していく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者と利用児の課題等を確認して、利用児に合わせた計画を作成している。	・今後も継続していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・WISC検査を使用し状況の把握を行っている。	・今後も継続していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員間で会議を行い、利用児の状況に合わせたプログラムを準備している。	・今後も継続していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・利用児の状況に合わせて組み替えている。	・今後も継続していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・利用児の状況に合わせて課題を設定している。	・今後も継続していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団行動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・学習支援やSSTなど状況の応じた支援を組み合わせている。	・今後も継続していく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・予定表を作成し、始業前に支援の打ち合わせ、確認を実施している。	・今後も継続していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			・個別記録にて共有し、翌日の打ち合わせにて、話し合いや振り返りを実施している。	・今後も継続していく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・個別記録を作成し、各職員が確認、支援の話し合いを実施している。	・今後も継続していく。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・年2回以上の面談を実施している。	・今後も継続していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			・学習支援の他に、SSTや創作活動などの支援を取り入れている。	・今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			・保護者や利用児の状況に合わせて、その時の対処にふさわしい職員を参画している。	・今後も継続していく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・学校より事前に予定表をいただくことで情報の共有を図っている。	・今後も継続していく。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		・現在、対象児童はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		・現状実施していないが、必要に応じて行っていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から福祉障がいサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		・現状実施していないが、必要に応じて行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	・宇都宮LDセンターや特別支援教育士との連携をしている。	・今後も継続していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか			○		・機会を設けていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	・相談員と連携をし、必要に応じて参加している。	・情報の共有をさらに図れるよう、機会を増やしていく。
	㉘	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか	○			・送迎の際や電話、訪問にて利用児の状況や課題についての共有理解を図っている。	・今後も継続していく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・対応事例等の共有を行っている。	・今後も継続していく。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約の際にご不明点が無いよう確認しながら説明をするよう努めている。	・今後も継続していく。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・訪問や電話、SNSツール等にて対応している。	・今後も継続していく。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者回答を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		・保護者会については今後検討をしていく。

	③③	子どものや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・状況を把握し、迅速な対応に努めている。	・今後も継続していく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・SNSツールを使用し発信している。	・今後も継続していく。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・鍵付きのキャビネットにて保管している。	・今後も継続していく。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・利用者、家族の様子を確認し情報の共有を密に図っている。	・今後も継続していく。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		・現状、地域住民を招待するような機会を設けていない。必要に応じて検討していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・ホームページ上にて公開している。	・周知して頂けるよう公表していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・職員間で状況を想定した話し合いを行っている。	・定期的に行っていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	・職員間で対応等の話し合いをする機会を設けている。	・定期的な機会を確保していく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		・現状、身体拘束を行う必要のある利用児の受け入れをしていない。状況に応じて検討していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか			○		・必要に応じて対応を検討していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事例集に基づき話し合いを行っている。	・今後も継続していく。